

事業所における自己評価結果【児童発達支援センター】

公表:平成31年1月15日

事業所名: 社会福祉法人療育自立センター寝屋川市立あかつきひばり園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		施設基準は満たしていますが、新たに取り組みを広げた併行通園クラスの利用する部屋などについては不十分さがあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		4対1の人員配置の国基準は十分に満たしており、それに加える形で職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、子どもの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物の構造上、バリアフリー化が困難な面がありますが、出来る限りの配慮を行っています。また、子どもが見通しを持って活動しやすいような構造化や情報伝達等には工夫を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		施設の老朽化やそれに伴う構造上の問題はありますが、子どもが快適に生活できるように工夫し努力しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	○		
	⑥	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○		市・法人・保護者会の三者で懇談を定期的実施し、保護者からの意見を取り入れて園運営の業務改善に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者評価を受審し、その結果に基づいて業務改善を行っています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	○		定期的に園内研修を行い、園外研修にも職員を派遣して資質の向上に努めています。また、全職員が個別に研修計画を作成し実践に努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		全園児に対し、標準化された発達検査を定期的実施し、子どもの状態把握を行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		

	⑮	活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	○		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		通常の集団活動だけでなく、子どもの状況や必要に応じて小集団活動やPT・OT・STなどの個別支援を行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		支援終了後には職員間で話し合ったり、振り返り記録をつける等、何らかの形で必ず振り返りを行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年3回、子どものまとめ（個別支援計画）を作成する中で、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓	（医療的ケアや必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉔	（医療的ケアや必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		必要に応じて医療機関の同伴受診を行い、医療機関との間に連絡体制を整えています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として、事前に資料による引継ぎを行うとともに、移行後も施設訪問し、丁寧な引き継ぎを行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学時の移行支援として、保護者の同意のもと、就学先への情報共有や引き継ぎを行っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉘	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		市内の公立保育所との交流保育を定期的に行っています。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	保護者参加日に子どもの様子を確認したり、連絡帳等で子どもの様子を伝えあっています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	園内では保護者懇談で子どものついで理解を深めています。また、子育て教室(発達、言語、作業療法、健康管理、食事、福祉制度など)を年間計画に基づいて実施しています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	毎年、年度初めに利用する保護者に対し説明を行っています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	面談や家庭訪問等で悩みや相談に対応しています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	施設と保護者との協力・共同を理念として掲げ、保護者会の活動を積極的に支援しています。また、月1回第4土曜日に開催される「おもちゃライブラリー」は保護者会と職員が共同運営しています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	必要に応じて、家庭訪問や個人面談を行うなど、迅速かつ丁寧な対応を心がけています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	「つばさだより」を保護者とも協力し年3回発行し、園の様子や情報の提供を行っています。
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○	
	③9	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	運動会、夏祭り、バザーなど行事に招待しています。また、地域の掲示板に貼ってお知らせをしています。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定して訓練を実施しているか	○
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	全職員が参加しているミーティングでその都度ヒヤリハット報告を行い、共有しています。
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	必要に応じて身体拘束を行う場合には、保護者に説明を行うとともに、児童発達支援計画に記載し、その内容について確認しています。今後、同意書を作成していくか検討中です。